



平成30年8月7日

各 位

会 社 名 株式会社 ナンシン
代表者名 代表取締役社長 齋藤 邦彦
(JASDAQ・コード7399)
問合せ先 財務部決算チームリーダー 馬 千里
(TEL. 03-6892-3018)

(訂正・数値データ訂正)「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成30年5月14日に開示いたしました「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしますので、お知らせします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正内容と理由

今般、平成31年3月期第1四半期決算の作業過程におきまして、提出会社における前期の売上原価等の入力に一部誤りがあることが判明しました。従いまして、金融商品取引法第24条の2第1項の規定に基づき、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

本訂正により、当社グループの経営成績において、売上原価が80百万円減少したため、営業利益及び経常利益はそれぞれ79百万円増加し、親会社株主に帰属する当期純利益は55百万円増加しました。

なお、平成30年3月期第3四半期決算以前の有価証券報告書及び四半期報告書に、影響はございません。

2. 訂正箇所

訂正の箇所には____を付して表示しております。

なお、訂正箇所が多数に及ぶことから、上記の訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以 上

平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年5月14日

上場会社名 株式会社 ナンシン 上場取引所 東
 コード番号 7399 URL http://www.nansin.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)齋藤 邦彦
 問合せ先責任者 (役職名)財務部決算チームリーダー (氏名)馬 千里 TEL 03-6892-3018
 定時株主総会開催予定日 平成30年6月28日 配当支払開始予定日 平成30年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 平成30年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期の連結業績(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	9,543	7.8	707	△30.3	681	△39.1	470	△41.4
29年3月期	8,853	△5.5	1,015	23.1	1,119	13.6	802	△1.9

(注) 包括利益 30年3月期 532百万円(△27.0%) 29年3月期 730百万円(20.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
30年3月期	61.31	—	4.6	5.0	7.4
29年3月期	104.64	—	7.9	8.4	11.5

(参考) 持分法投資損益 30年3月期 ー百万円 29年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期	13,835	10,347	74.8	1,349.78
29年3月期	13,400	9,923	74.0	1,294.10

(参考) 自己資本 30年3月期 10,347百万円 29年3月期 9,923百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
30年3月期	△103	65	△113	2,269
29年3月期	1,114	△247	△81	2,418

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
29年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00	107	13.4	1.1
30年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	76	16.3	0.8
31年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00		14.5	

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,765	8.6	330	37.6	340	35.0	250	34.7	32.61
通期	10,200	6.9	650	△8.1	630	△7.6	450	△4.3	58.70

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー 社（社名）、除外 ー 社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
② ①以外の会計方針の変更： 無
③ 会計上の見積りの変更： 無
④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期	7,708,000株	29年3月期	7,708,000株
② 期末自己株式数	30年3月期	41,909株	29年3月期	39,858株
③ 期中平均株式数	30年3月期	7,666,565株	29年3月期	7,668,896株

(参考) 個別業績の概要

1. 平成30年3月期の個別業績（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	8,748	5.6	454	△23.2	821	△17.0	654	△14.5
29年3月期	8,282	△3.0	591	4.4	989	29.5	765	31.8

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期	85.42	—
29年3月期	99.86	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
30年3月期	13,069		9,954		76.2		1,298.49	
29年3月期	12,464		9,376		75.2		1,222.79	

(参考) 自己資本 30年3月期 9,954百万円 29年3月期 9,376百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

○ 添付資料の目次	
1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
(4) 事業等のリスク	4
2. 企業集団の状況	6
3. 経営方針	7
(1) 会社の経営の基本方針	7
(2) 目標とする経営指標	7
(3) 中期的な会社の経営戦略と対処すべき課題	7
4. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	8
5. 連結財務諸表	9
(1) 連結貸借対照表	9
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	11
連結損益計算書	11
連結包括利益計算書	12
(3) 連結株主資本等変動計算書	13
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	15
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	17
(継続企業の前提に関する注記)	17
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	17
(セグメント情報等)	19
(1株当たり情報)	24
(重要な後発事象)	25
6. その他	25

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

①当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業業績や雇用環境の改善が見られるなど緩やかな回復基調で推移したものの、海外における政治経済の不安定化や地政学リスクの高まり等を受けて、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する業界におきましても、主要な取引先である機械工具業界や物流業界からの受注に波があり、一貫した力強さが感じられません。

こうした状況の下、当社グループは、海外生産拠点との一体運営の強化等による更なる原価低減と新たな販路の開拓に努め、経営体質の充実強化に注力してまいりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は 9,543,530 千円（前年同期比 7.8%増）、営業利益は増収効果はあったものの円安推移による売上原価率の上昇や 70 周年行事費用等により 707,262 千円（前年同期比 30.3%減）、経常利益は 681,824 千円（前年同期比 39.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は 470,043 千円（前年同期比 41.4%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

○日本

売上高は、8,748,286 千円（前年同期比 5.6%増）、セグメント利益（営業利益）は、454,402 千円（前年同期比 23.2%減）となりました。

○マレーシア

売上高は、2,377,856 千円（前年同期比 1.6%増）、セグメント利益（営業利益）は、リンクット高もあり 63,255 千円（前年同期比 80.5%減）となりました。

○中国

売上高は、2,515,236 千円（前年同期比 38.5%増）、セグメント利益（営業利益）は、増収効果等により 172,223 千円（前年同期比 30.1%増）となりました。

②次期の見通し

わが国経済の見通しにつきましては、保護主義的な貿易政策に伴う米国・中国経済等の減速懸念に加え、金利上昇・為替変動リスクや原油価格の動向など不透明さを増していることもあり、予断を許さない状況にあります。

また、当社グループが属する業界においても、これに加え、需要構造の変化や価格競争の更なる激化が予想され、今後とも厳しい経営環境が続くものと思われまます。

こうした認識の下、当社グループでは、海外売上の拡大など新たな販路の開拓に注力すると共に、更なる原価の低減と新製品の開発により価格競争力を強化いたします。また、為替変動への対応力を高め、グループ全体利益の最大化を図ります。

以上により、平成 31 年 3 月期の連結業績見通しにつきましては、売上高は 10,200 百万円（前年同期比 6.9%増）、営業利益は 650 百万円（前年同期比 8.1%減）、経常利益は 630 百

万円(前年同期比 7.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は 450 百万円(前年同期比 4.3%減) を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて 5.3%増加し、8,830,401 千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が 276,464 千円増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて 0.1%減少し、5,005,367 千円となりました。これは主に、建物及び構築物が 107,393 千円減少したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて 3.2%増加し、13,835,769 千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて 1.3%増加し、2,048,260 千円となりました。これは主に、未払法人税等が 105,540 千円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて 1.0%減少し、1,439,953 千円となりました。これは主に、リース契約補償損失引当金が 79,654 千円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて 0.3%増加し、3,488,213 千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて 4.3%増加し、10,347,556 千円となりました。これは主に、利益剰余金が 362,689 千円増加したことによります。

この結果、自己資本比率は 74.8 %となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ 148,910 千円減少し、2,269,219 千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は、103,580 千円(前年同期は 1,114,485 千円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益 682,365 千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の増加は、65,334 千円(前年同期は 247,296 千円の減少)となりました。これは主に、定期預金の減少額 213,350 千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は 113,924 千円(前年同期は 81,609 千円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払額 107,418 千円によるものであります。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー関連指標の推移は、下記のとおりであります。

	平成 26 年 3 月期	平成 27 年 3 月期	平成 28 年 3 月期	平成 29 年 3 月期	平成 30 年 3 月期
自己資本比率(%)	63.8	67.8	70.5	74.0	74.8
時価ベースの 自己資本比率(%)	29.7	26.2	23.0	30.6	<u>32.4</u>
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率(%)	114.6	93.0	95.4	44.9	—
インタレスト・カバレッジ・ レシオ(倍)	97.6	123.7	231.4	700.6	—

(注) 自己資本比率 : 自己資本 / 総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額 / 総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : 営業キャッシュ・フロー / 利払い

* 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

* 株式時価総額は、期末株価終値 × 期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

* 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債(リース債務を除く)を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額及び社債利息の支払額を使用しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主への利益還元を経営の最重要政策の一つと認識しております。すなわち、財務体質および経営基盤強化のため内部留保の充実に努めると共に、配当性向の維持向上を総合勘案し利益配分を決定する方針をとっております。

当期の業績は、上記(1)「経営成績に関する分析」に記載したとおり、厳しい経営環境下、増収減益の結果となりました。

つきましては、当期の配当は、普通配当 10 円を実施いたします。また、次期の配当についても、厳しくかつ不透明な経営環境が続くものと思われませんが、引き続き普通配当 10 円を維持できるよう努力してまいり所存であります。

(4) 事業等のリスク

事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項には、以下のようなものがあります。

なお、文中の将来に関する事項は、当連結会計年度末現在において当社グループが判断したものであります。

①英国子会社 NSG GLOBAL LTD. に関する保証債務及び事業整理損失

同社は、英国キャスター事業からの撤退・整理の一環として2001年11月工場賃貸借契約の承継管理を目的として設立されたNSG EUROPE LTD. から、2012年2月当該整理事業を承継した新会社であります。

当社グループは、平成23年3月期決算において、以後発生する賃借料及び必要経費について、リース契約補償損失引当金及び事業整理損失引当金として全て引当いたしました。

また、当期決算において、その後の金融・経済環境の変化や2020年12月の工場賃貸借契約終了を踏まえ、当該引当金に関して再度見直しを行ないました。

しかしながら、英国のEU離脱の方向性が定まる2019年3月以降の政治経済状況、更にはそれを受けた関係者との協議如何では、保証債務及び事業整理損失が変更される可能性があります。

②海外企業からの製品・原材料輸入等に関する為替変動リスク

当社グループの事業モデルは、海外生産による製品輸入や海外企業からの製品・原材料輸入等を基本としており、円安進行により売上原価率が上昇する可能性があります。

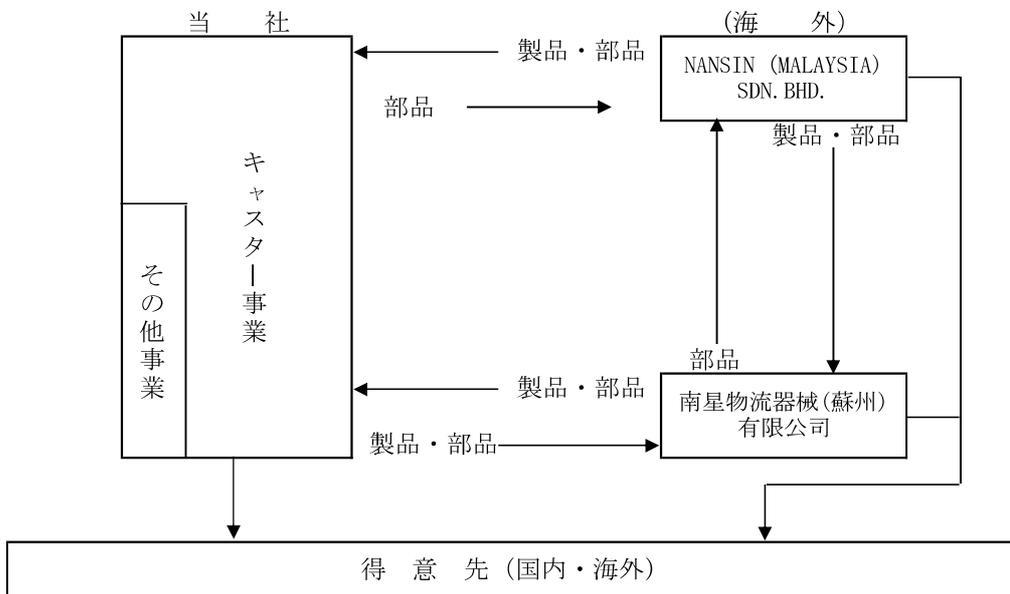
当社グループは、適切に為替予約を取組む等により、為替変動リスクを回避しグループ全体利益の最大化を図っております。

2. 企業集団の状況

当社は、キャスター、台車等の製造及び販売を主要な事業とする会社で、当社を中核として周辺に以下の子会社を擁し、企業集団として事業を展開しております。
当グループに係る位置づけは以下のとおりであります。

区 分	会 社 名	所 在 地	主要製・商品	位置づけ	
				製造	販売
連結子会社	NANSIN (MALAYSIA) SDN. BHD.	マレーシア	キャスター	○	○
	南星物流器械(蘇州) 有限公司	中国	キャスター・台車	○	○
	NSG GLOBAL LTD.	イギリス	整理事業(不動産賃貸)		

事業の系統図は以下のとおりであります。



3. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、「人づくり、製品（物）づくりを通して広く社会に貢献する」を経営理念とし、顧客満足度の向上と企業価値の創造により企業の社会的責任（CSR）を果たすことを経営の基本方針としております。

<経営理念の3本柱>

①社会から頼られる企業を目指します

- ・ 有用な製品やサービスの提供による顧客・消費者ならびに社会への貢献
- ・ 適正な利益獲得による株主・投資家・従業員への還元と納税
- ・ 法令や社会的規範の遵守（コンプライアンス）と積極的な情報開示
- ・ 環境や雇用問題への取組みと地域貢献・共生

②社会から求められる製品やサービスを提供します

- ・ 製造原価の低減による価格競争力の強化
- ・ 製品やサービスの品質向上による差別化・高付加価値化とクレームの削減
- ・ 物流および医療・介護等異分野における新製品の開発や新サービスの企画
- ・ 海外商品の調達と海外市場の開拓

③社会から愛される人材の育成に努めます

- ・ 顧客ニーズをつかむ情報感応度・商品知識・提案型セールス
- ・ 顧客の要望やクレームへの誠実で迅速な対応

(2) 目標とする経営指標

当社グループは、継続安定的な事業の拡大を通して企業価値と株主価値の増大を図るため、適正な利益の確保を最大の経営目標としております。そのために、

- ①売上高営業利益率
- ②総資産経常利益率（ROA）
- ③自己資本当期純利益率（ROE）

を目標とする経営指標とし、経営効率の向上に一層努めてまいります。

また、キャッシュ・フロー重視の経営を志向してまいります。

(3) 中長期的な会社の経営戦略と対処すべき課題

当社グループは、経営目標を達成するため、以下の施策を中心に推進してまいります。

- ①中国・アセアンなど海外売上の拡充と、キャスター・台車に続く新たな柱作り
- ②海外生産シフトの完成と、国内外の生産拠点の役割分担・連携強化
- ③ITを活用した、戦略的・効率的な業務運営（販売・製品開発手法等）の仕組み構築
- ④グローバルな事業展開を見据えた多様な人材の確保と計画的育成

4. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、I F R Sの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応して行く方針であります。

1 【連結財務諸表等】

(1) 【連結財務諸表】

① 【連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,343,069	3,013,580
受取手形及び売掛金	※5 2,803,175	※5 3,079,639
商品及び製品	1,107,749	1,329,666
仕掛品	337,270	371,686
原材料及び貯蔵品	611,350	807,554
繰延税金資産	66,653	58,990
その他	120,730	169,722
貸倒引当金	△826	△439
流動資産合計	8,389,174	8,830,401
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	※4 1,926,864	※4 1,819,471
機械装置及び運搬具（純額）	168,151	161,618
土地	※4 2,081,122	※4 2,081,122
リース資産（純額）	3,432	14,742
建設仮勘定	17,637	35,614
その他（純額）	104,681	133,870
有形固定資産合計	※1 4,301,889	※1 4,246,438
無形固定資産		
借地権	46,653	49,196
ソフトウェア	18,737	17,779
その他	31,761	29,812
無形固定資産合計	97,152	96,788
投資その他の資産		
投資有価証券	311,237	356,622
投資不動産	※2, ※4 73,690	※2, ※4 70,731
その他	228,816	235,930
貸倒引当金	△1,004	△1,144
投資その他の資産合計	612,741	662,140
固定資産合計	5,011,782	5,005,367
資産合計	13,400,957	13,835,769

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,021,376	1,171,707
短期借入金	※4 500,000	※4 500,000
リース債務	2,801	3,737
未払法人税等	181,317	75,776
賞与引当金	59,909	59,233
役員賞与引当金	16,500	14,270
その他	※3 240,917	※3 223,536
流動負債合計	2,022,821	2,048,260
固定負債		
リース債務	705	11,030
繰延税金負債	82,485	100,281
役員退職慰労引当金	549,623	594,567
リース契約補償損失引当金	318,397	238,743
事業整理損失引当金	174,732	168,128
退職給付に係る負債	296,542	312,439
資産除去債務	13,700	13,879
その他	18,601	882
固定負債合計	1,454,788	1,439,953
負債合計	3,477,610	3,488,213
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,696,500	1,696,500
資本剰余金	1,542,759	1,542,759
利益剰余金	6,881,332	7,244,022
自己株式	△11,223	△12,373
株主資本合計	10,109,368	10,470,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	90,850	122,287
為替換算調整勘定	△276,871	△245,639
その他の包括利益累計額合計	△186,021	△123,351
純資産合計	9,923,346	10,347,556
負債純資産合計	13,400,957	13,835,769

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
連結損益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
売上高	8,853,960	9,543,530
売上原価	6,119,164	6,885,070
売上総利益	2,734,796	2,658,459
販売費及び一般管理費	1,719,679	1,951,196
営業利益	1,015,116	707,262
営業外収益		
受取利息及び配当金	24,562	21,802
受取賃貸料	39,326	39,212
為替差益	43,850	-
物品売却益	13,429	17,712
リース契約補償損失引当金戻入額	10,023	10,255
その他	20,455	11,767
営業外収益合計	151,649	100,750
営業外費用		
支払利息	1,653	1,391
為替差損	-	82,582
賃貸収入原価	7,352	7,352
事業整理損失引当金繰入額	21,509	19,346
売上割引	15,900	14,468
その他	924	1,047
営業外費用合計	47,339	126,188
経常利益	1,119,426	681,824
特別利益		
固定資産売却益	366	707
投資有価証券売却益	15,949	-
特別利益合計	16,315	707
特別損失		
固定資産除売却損	1,233	166
ゴルフ会員権評価損	4,850	-
特別損失合計	6,083	166
税金等調整前当期純利益	1,129,658	682,365
法人税、住民税及び事業税	282,057	201,157
法人税等調整額	45,142	11,163
法人税等合計	327,200	212,321
当期純利益	802,457	470,043
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	802,457	470,043

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
当期純利益	802,457	470,043
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,126	31,437
為替換算調整勘定	△77,475	31,232
その他の包括利益合計	△72,348	62,669
包括利益	730,109	532,713
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	730,109	532,713
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,696,500	1,542,759	5,995,713	△10,704	9,224,267
会計方針の変更による累積的影響額			159,854		159,854
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,696,500	1,542,759	6,155,568	△10,704	9,384,122
当期変動額					
剰余金の配当			△76,693		△76,693
親会社株主に帰属する当期純利益			802,457		802,457
自己株式の取得				△518	△518
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	725,764	△518	725,245
当期末残高	1,696,500	1,542,759	6,881,332	△11,223	10,109,368

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	85,723	△199,396	△113,672	9,110,595
会計方針の変更による累積的影響額				159,854
会計方針の変更を反映した当期首残高	85,723	△199,396	△113,672	9,270,449
当期変動額				
剰余金の配当				△76,693
親会社株主に帰属する当期純利益				802,457
自己株式の取得				△518
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	5,126	△77,475	△72,348	△72,348
当期変動額合計	5,126	△77,475	△72,348	652,897
当期末残高	90,850	△276,871	△186,021	9,923,346

当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,696,500	1,542,759	6,881,332	△11,223	10,109,368
当期変動額					
剰余金の配当			△107,353		△107,353
親会社株主に帰属する当期純利益			470,043		470,043
自己株式の取得				△1,150	△1,150
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	362,689	△1,150	361,539
当期末残高	1,696,500	1,542,759	7,244,022	△12,373	10,470,907

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	90,850	△276,871	△186,021	9,923,346
当期変動額				
剰余金の配当				△107,353
親会社株主に帰属する当期純利益				470,043
自己株式の取得				△1,150
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	31,437	31,232	62,669	62,669
当期変動額合計	31,437	31,232	62,669	424,209
当期末残高	122,287	△245,639	△123,351	10,347,556

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,129,658	682,365
減価償却費	228,389	241,108
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△769	△245
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12,102	△676
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	7,200	△2,230
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	10,453	15,897
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	17,813	44,944
事業整理損失引当金の増減額 (△は減少)	21,509	19,346
リース契約補償損失引当金の増減額 (△は減少)	△10,023	△10,255
受取利息及び受取配当金	△24,562	△21,802
支払利息	1,653	1,391
為替差損益 (△は益)	15,785	42,222
投資有価証券売却損益 (△は益)	△15,949	-
有形固定資産売却損益 (△は益)	△68	△788
有形固定資産除却損	121	85
ゴルフ会員権評価損	4,850	-
売上債権の増減額 (△は増加)	232,642	△270,663
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△210,503	△390,671
仕入債務の増減額 (△は減少)	△119,958	122,940
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△2,729	△37,001
その他	59,974	△114,516
小計	1,357,589	321,452
利息及び配当金の受取額	24,619	26,744
利息の支払額	△1,590	△1,289
リース損失支払額	△86,007	△87,996
事業整理損失支払額	△36,090	△35,899
役員退職慰労金の支払額	△1,800	-
法人税等の支払額	△142,233	△326,590
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,114,485	△103,580

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△934,716	△747,633
定期預金の払戻による収入	917,963	960,983
有形固定資産の取得による支出	△242,853	△96,611
有形固定資産の売却による収入	1,073	2,167
無形固定資産の取得による支出	△11,900	△26,932
投資有価証券の売却による収入	24,932	-
その他	△1,796	△26,639
投資活動によるキャッシュ・フロー	△247,296	65,334
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△4,429	△5,355
配当金の支払額	△76,660	△107,418
自己株式の取得による支出	△518	△1,150
財務活動によるキャッシュ・フロー	△81,609	△113,924
現金及び現金同等物に係る換算差額	△35,547	3,259
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	750,032	△148,910
現金及び現金同等物の期首残高	1,668,097	2,418,130
現金及び現金同等物の期末残高	2,418,130	2,269,219

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

すべての子会社を連結しております。

連結子会社数・・・・・・・・・・3社

NANSIN(MALAYSIA) SDN. BHD.

南星物流器械(蘇州)有限公司

NSG GLOBAL LTD.

2. 持分法の適用に関する事項

関連会社及び非連結子会社は、ありません。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社のうち、南星物流器械(蘇州)有限公司の決算日は、12月31日であります。その他の連結子会社は、連結会計年度と同一であります。

4. 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

時価のあるもの 決算期末日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの 移動平均法による原価法

② たな卸資産の評価基準及び評価方法

主として総平均法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)

③ デリバティブの評価基準及び評価方法 時価法

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産(リース資産を除く) 定額法

② 無形固定資産(リース資産を除く) 定額法

③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数として、残存価額をゼロとする定額法によっております。

④ 投資不動産 定額法

(3) 重要な引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率法により、貸倒懸念債権等については、財務内容評価法によって計上しております。

② 賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当連結会計年度に対応する金額を計上しております。

③ 役員賞与引当金

役員に対して支給する賞与に充てるため、当連結会計年度に見合う支給見込額に基づき計上しております。

④ 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支出に備えるため、役員退職慰労金規程に基づく当連結会計年度末要支給額を計上しております。

⑤ リース契約補償損失引当金

連結子会社 NSG GLOBAL LTD. の英国での不動産リース債務(契約期限平成 32 年 12 月 31 日)について、英国の不動産需給状況を勘案して、リース資産の転貸等による適切な収入を得られない場合の当社グループが負担する損失に備え、当連結会計年度末におけるオペレーティング・リース債務残高に対し必要額を計上しております。

⑥ 事業整理損失引当金

連結子会社 NSG GLOBAL LTD. の整理に伴う損失に備えるため、当社グループが負担することとなる損失見込額を計上しております。

(4) 退職給付に係る会計処理の方法

当社は、退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

(5) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、要求払預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から3ヶ月以内に満期日の到来する短期的な投資からなっております。

(6) 消費税等の会計処理

消費税及び地方税等の会計処理は税抜方式によっております。

当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	マレーシア	中国	
売上高				
外部顧客への売上高	8,730,579	73,160	739,789	9,543,530
セグメント間の内部売上高又は振替高	17,706	2,304,695	1,775,446	4,097,848
計	8,748,286	2,377,856	2,515,236	13,641,379
セグメント利益	454,402	63,255	172,223	689,881
セグメント資産	11,464,614	1,873,183	973,532	14,331,329
セグメント負債	3,302,552	308,552	282,611	3,893,716
その他の項目				
減価償却費	175,004	48,311	17,792	241,108
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	54,386	64,158	21,613	140,159

報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	金額
報告セグメント計	13,641,379
セグメント間取引消去	△ 4,097,848
連結財務諸表の売上高	9,543,530

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	689,881
セグメント間取引消去	17,380
連結財務諸表の営業利益	707,262

(単位：千円)

資産	金額
報告セグメント計	14,331,329
全社資産又は消去	△ 475,559
連結財務諸表の資産合計	13,855,769

(単位：千円)

負債	金額
報告セグメント計	3,893,716
全社負債又は消去	△ 405,502
連結財務諸表の負債合計	3,488,213

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計	調整額	連結財務諸表計上額
減価償却費	241,108	—	241,108
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	140,159	—	140,159

(1 株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日)		当連結会計年度 (自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日)	
1 株当たり純資産額	1,294 円 10 銭	1 株当たり純資産額	<u>1,349 円 78 銭</u>
1 株当たり当期純利益金額	104 円 64 銭	1 株当たり当期純利益金額	<u>61 円 31 銭</u>
なお、潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないために記載しておりません。		同左	

(注) 算定上の基礎

1. 1 株当たり純資産額

項 目	前連結会計年度 (平成 29 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (平成 30 年 3 月 31 日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	9,923,346	<u>10,347,556</u>
普通株式に係る純資産額(千円)	9,923,346	<u>10,347,556</u>
差額の主な内訳(千円)	—	—
普通株式の発行済株式数(株)	7,708,000	7,708,000
普通株式の自己株式数(株)	39,858	41,909
1 株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	7,668,142	7,666,091

2. 1 株当たり当期純利益及び潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益

項 目	前連結会計年度 (自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日)	当連結会計年度 (自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 30 年 3 月 31 日)
連結損益計算書上の当期純利益(千円)	802,457	<u>470,043</u>
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	802,457	<u>470,043</u>
普通株式の期中平均株式数(株)	7,668,896	7,666,565
潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	—	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

前連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

該当事項はありません。

6. その他

該当事項はありません。